

あんぜん あんしん お届けします。

モグモグ

MOGMOG

2021
No.449

CO-OP
東都生協たより

6

今月の
産地

(有)山梨フルーツライン

身近なところから 平和を考える

～あなたにもできる平和活動～

産地直結ひとすじ、いちばん頼れる生協に。

産直の東都生協



①手間暇けて育てた桃 ②花とりのようす(花粉採取用)
③受粉作業 ④収穫 ⑤桃畑の雪化粧

食べた人がみんな笑顔になる おいしい桃をお届けします

“指先の達人”が見極めた

しっかり熟した桃だけを収穫・出荷

「スリーレス」にこだわった桃栽培
 (有)山梨フルーツラインは次に挙げる「スリーレス」(三つの「しらない」)にこだわり、桃の栽培を行っています。

- ①できるだけ化学合成農薬を使用しない
 IPM(各種防除手段を適切に組み合わせ、病害虫・環境への影響を軽減し、安定生産を可能にする手法)を重視、県の慣行防除の半分の減農薬を目指す。
- ②できるだけマルチを使用しない
 無理に日焼けさせず、自然の桃の色付きを大切に、見た目ではなく本来の味を追求。
※土壌水分を減らすため畑をシートで覆うこと。シートの反射光で着色される。
- ③できるだけ袋かけをしない
 自然の恵みを受けた生育。これにより糖度も上がる。畑では樹の植え付け間隔を通常より広くし、枝が十分に伸ばせるように剪定します。風通し良く効果的に光合成ができる。この「ゆとり栽培」はスリーレスピーチを生み出す上で必要不可欠。収穫量は減っても、安全・安心な果物栽培につながるのです。

指先の達人が完熟を見極めて出荷
 桃は繊細な果物です。傷みのリスクを考え、購買者が食べる頃を目安に収穫するのが一般的ですが、「リスクを背負ってでも完

「スリーレスピーチ」
だからこそのおいしさ



桃の生産者の皆さん(左端が代表の手塚建さん)

今月の産地

(有)山梨フルーツライン

果樹栽培で長い歴史のある山梨県の生産者

江戸時代から「甲州八珍果」(ぶどう、梨、桃、柿、栗、りんご、さくら、ざんなんorくるみ)が幕府に献上されるなど、果物生産では歴史のある山梨県。甲府盆地東部に位置する山梨市は、大きな寒暖差、長い日照時間、降水量の少なさという盆地特有の気候を果樹栽培に生かし、日本有数のフルーツ大国となっています。この恵まれた地で、主に桃・ぶどう・柿の生産・加工・販売を行う(有)山梨フルーツライン。桃の生産者(約30人)は、年間約400t(2020年)もの桃を生産しています。東都生協への供給は約30年前から、近年は産地交流訪問なども活発に行っています(2020年度は新型コロナウイルス感染対策のため中断)。

これまで培ってきた果樹栽培技術を次世代へ

(有)山梨フルーツラインでは、20代から70代まで幅広い年齢層の生産者が家族のように団結し、「日本一おいしい果物作り」を目指しています。そのために「代々受け継がれてきた果樹栽培の技を後世に継承したい」と、培ってきた果樹栽培のノウハウをベテランから若手生産者に伝授。さらに「個々のモチベーションが上がり最高のパフォーマンス(作業)ができる環境こそ、おいしい果物作りにつながる」との考えから、一人ひとりのワークライフバランスがとれる「働きやすい環境」を整えています。

食の安全、農業活性化につながる取り組みを

「食に対する関心が年々高まっているところに、新型コロナウイルスで衛生面も問題となり、産地の透明性“見える化”を進めることが急務となりました。これまでも生産者カードで産地情報をお届けしていましたが、“安心して口にできる果物栽培”への私たちのこだわりや産地の様子を、分かりやすくお伝えし、食の安全・安心へとつなげていきたい。また、私たちの果物を通して農業に興味・関心を持っていただくことは、国内農業の活性化につながる大事な役割と考えています」(有)山梨フルーツライン代表・手塚建さん



「スリーレス」による
桃本来の
深い味わい



おいしさいろいろ! (有)山梨フルーツラインの桃

ちよめ(6月下旬):小ぶりで酸味少なく、すっきりとした甘さ。
日川白鳳(7月上旬):早生の中玉。果汁・甘みともにバランス良く、風味豊か。
白鳳(7月下旬):大玉でやわらか。深い味わいと、滴るほど豊富な果汁が特徴。山梨県ではNo.1の収穫量を誇り、その人気と長い歴史から生産者は“キングオブピーチ”の愛称で呼んでいます。
加納岩白桃(7月下旬):大玉で果肉は白くやわらか。多汁で酸味少なめ。
さくら(8月下旬):白桃系・中玉でギュッと詰まった硬めの果実。さっぱりとした甘さ、カリッとした食感が特徴。

このほか、浅間白桃(8月上旬)、なつっこ(8月上旬)、一宮白桃(8月上旬)、川中島白桃(8月中旬)、甲斐黄桃(9月下旬)などがあります。品種ごとのいろいろなおいしさをお楽しみください。

身近なところから 平和を考える

～あなたにもできる平和活動～

東都生協の平和活動

—だれもが安心してらせる平和な社会をめざして行動します—

平和活動も
組合員活動!



思いを込めたモチーフ

毎年開催する「東都生協平和のつどい」では、東友会の被爆者証言を中心にひざ掛け贈呈や戦争ほうきづくりを行っています。また、パネル展示などで戦争について学び、平和を願いながら観劇、音楽鑑賞などもしています。「平和のつどい」に参加することも、身近にできる平和活動です。他にもできる活動はあるはずですよ。あなたは何をしますか?

被爆者へのひざ掛け贈呈

- とーと会(ピースニットカフェ)、サークル(パッチワーク三本杉)、地域委員会(第6・8・9)などのグループが東京に住む被爆者の方たち(東友会)にモチーフを編んで、ひと針ひと針つないだひざ掛けを贈っています。
- 2020年度はひざ掛け39枚、マフラー11枚を贈呈

戦争ほうき

- 「戦争反対」の意思表示として服の胸やかばんに付けるほうき型の小さなアクセサリー。1991年、東都生協組合員の入江篤子さんが考案し、全国に広がっています。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)が2017年にノーベル平和賞を受賞し、ノルウェー・オスロで受賞祝賀会が開かれた際にも多くの人が胸に付けました。
- 第16回「東都生協平和のつどい」(2019年)までは、会場で戦争ほうきを作りました。



ボクも作ったよ

「平和」という言葉は、誰もが知っています。

「平和」は「戦争」の対語のような印象があります。

でも、家庭、地域、属している組織にも平和が必要です。

例えば、いじめ、差別、あおり運転、コロナ禍においての家庭内暴力、児童虐待など、身近な平和を脅かすコトは、実はたくさんあります。

「意見が違う」「気に入らない」人・コトを「排除・攻撃する」状況は平和とは言えません。

小さな火種は、放置するとやがて大きな火種(=戦争)に向かう危険があります。

今号では、身近なところから平和を考えてみたいと思います。



桃モッツアレラチーズ

材料(2~3人分)

桃……………2個
モッツアレラチーズ……………300g~400g
レモンの皮……………適量
(※ワックス・防カビ剤・防腐剤・農業不使用のもの)
白ワインビネガー……………適量
塩・ブラックペッパー……………適量
オリーブオイル……………適量
ペビーリーフorバジル……………適量

作り方

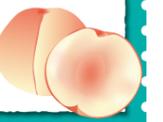
1. 桃は皮をむき、一口大にカットする。モッツアレラチーズは手でちぎる。
2. (1)をボウルに入れ、塩・ブラックペッパーであえて皿に移す(桃は変色しやすいので素早く)。
3. レモンの皮は細く千切りするか、ゼスター(なければおろし金)ですりおろして(3)にかける。
4. オリーブオイルを全体にかけ、白ワインビネガーで仕上げる。
5. ペビーリーフやバジルで彩りを添える。

旬のレシピ

桃に関するプチ情報

桃は上下で糖度の差があるので、縦にカットして枝側から食べるのがおすすめ。最後まで甘みが感じられます。

上手にカットするには、①桃の溝に沿って1周切り込みを入れた後、優しく持ち、グルッとねじるように回して半分に割る、②半身を好みの幅に切り分け、種の残っている半身はそのまま切り込みだけを入れる、③種に沿って包丁を入れる(これできれいに実が外れます)。カットし終わった桃は、皮を下にしてまな板に置き、包丁を寝かせて実と皮の間に滑らすように入れていくと、皮もきれいにむけます(桃の品種によってはむぎにくい場合も…)。



Attention, please!!
[アテンション・プリーズ]

桃はお好きですか?
桃のアレンジレシピをご存じでしょうか?
クロスワードの答えと一緒に送ってくださいね。

もう一品 おすすめ メニュー 桃 サンドイッチ

材料(2人前)

桃……………1個 きび砂糖……………20g~
無糖プレーンヨーグルト……………400g (お好みで調整)
(水切り後200g前後に) 食パン……………8枚切り4枚
生クリーム……………200g メープルシロップ※……………適量
(乳脂肪分42~47%) ※クリームチーズに変更しても美味。
飾り用ミント……………適量

作り方

1. ボウル(水切りした水分がざるに着かない深さ)にざるを重ねてキッチンペーパーを敷き、ヨーグルトを入れる。上からラップをして冷蔵庫に入れて水切りする(3~4時間:少しやわらかめ、6~7時間:より硬めになる)。※前日に準備しておくとお楽です。
2. (1)をボウルに入れ、きび砂糖と混ぜる。
3. 生クリームをツノが立つくらいまで泡立て、(2)と合わせる。
4. 食パンにメープルシロップを塗り、その上から(3)を塗る。
5. 桃は皮をむき、好みの厚さにスライスして(4)のパンの上に並べ、さらに(3)のをのせる(後でカットする部分に桃を並べると断面がきれい)。
6. (5)をもう1枚のパンではさんだらラップできつめに包み、冷蔵庫で30分ほど寝かせる。
7. お好みのサイズに切り、飾りにミントを添える。



桃の食べごろ

(有)山梨フルーツラインの桃は、前ページでご紹介したように「完熟」で収穫しているため、早目に召し上がるようにしてください。桃の硬さを知りたい場合は「少しずつつへた(お尻)の部分」がやわらかくなるので、確認してください(生産者)とのこと。完熟桃の深い味、ぜひご堪能ください。



今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン開催となりました。画面越しでしたが、東友会・村田未知子さんのお話を聞いて、平和の尊さをあらためて心に刻みました。

村田未知子さんの証言を聞いて…

被爆者数は多い時で37万2,264人、毎年約1万人の方が亡くなり、20年にはその数も13万6,682人となったそうです。東友会に所属する方の平均年齢83・3歳、多くの方が高齢です。寄せられる相談件数は年間約1万5,000件。被爆者相談カルテにつづられた人生の重みは、画面越しでも実感できました。「迫る火の勢いがすごくて、家の下敷きになって苦しんでいる母を助けられなかった。振り返りながら何度も『ごめんさい』と手を合わせて逃げたつらい思い出は一生忘れられません」「死にたくないと言って死んでいく人たちが。形ばかりのお棺に入れ、燃え残った木で亡くなった子どもの遺体を焼く。そんな光景が当たり前だった」「被爆者だというだけで差別を受けた」「里から届いた物を近所に配ったら、原爆がうつると捨てられた」「被爆者の娘だからと結婚を反対された」「亡くなるまで」妻に被爆者だと言えなかった



●被爆者の証言を伝えていくことがいかに大切であるかがよく分かる「つどい」だった。冷静に被爆者の声(呼び、思い)を語る村田さんの迫力に感動。貴重な時間を持ってたとどまらず、自分のできる平和活動を行っていきたい。

●大切なことは被爆者の方々のご経験を遺産として、後世に残していくことだと思う。それが今から未来に向けて、パトンを渡すことなのかと思いました。

●相談員さんならではのお話は、被爆体験、差別、心の苦しさなど、こんなことは決してあってはならないと思える内容でした。参加された方で、お子さんにもつなげていかなくては話されていたのもよかったです。

●戦争体験者が少なくなっていく中、それを後世に伝えていく私たちの役割は重大です。

●リモートの方法もこんな風に来て、東都もやるじゃないかと感動。グループ交流のまとめ役さんの力もgood。

村田さんの「東都生協の組合員さんとの交流会と、いただくひざ掛けでどんなに心身が温まるか…感謝しています」という言葉に少しホッとしました。そして、「原爆による地獄から生き残った者の使命は、再び被爆者をつくらせないこと、被爆時のことや被爆者の人生を知らせていくこと」と話され、最後に「核兵器廃絶に向けた運動を進めていきたい」と結ばれた、村田さんのお姿はたくましく見えました。視聴後、私たちにできることは「被爆者の話が聞きたい」と声をあげるのだと、強く思いました。



村田 未知子さんプロフィール

1982年に東友会相談員として勤務。主に、被爆者相談所の主任相談員として活動。被爆者の実態を30年以上「相談員の証言」として語り続けている。

一般社団法人 東友会(東京都原爆被害者協議会)とは
広島と長崎で人類初の原爆を体験し、その後東京で生きてきた被爆者が1958年に結成。「ふたたびヒロシマ・ナガサキをつくらせない」を合言葉に死没者慰霊事業、核兵器廃絶、被爆者の諸制度の充実、原爆被害の国の償いを求める運動などを行う。2013年結成の「おりつるの子」は、都内在住被爆二世(有志)により東友会の支援で誕生。東友会と連携して活動している。

平和のつどい 参加者の感想

- 大切なことは被爆者の方々のご経験を遺産として、後世に残していくことだと思う。それが今から未来に向けて、パトンを渡すことなのかと思いました。
- 被爆者の証言を伝えていくことがいかに大切であるかがよく分かる「つどい」だった。冷静に被爆者の声(呼び、思い)を語る村田さんの迫力に感動。貴重な時間を持ってたとどまらず、自分のできる平和活動を行っていきたい。
- 核兵器の恐ろしさを改めて実感し、地球上から核兵器廃絶を実現したいと思いました。
- リモートの方法もこんな風に来て、東都もやるじゃないかと感動。グループ交流のまとめ役さんの力もgood。
- 戦争体験者が少なくなっていく中、それを後世に伝えていく私たちの役割は重大です。
- 相談員さんならではのお話は、被爆体験、差別、心の苦しさなど、こんなことは決してあってはならないと思える内容でした。参加された方で、お子さんにもつなげていかなくては話されていたのもよかったです。

東都生協の平和活動

東都生協では、さまざまな平和活動をしています。
●平和募金を40年以上継続 ●広島・長崎へ代表団を派遣
●1993年から「東都生協平和の日のつどい」を開催、その後2004年から「東都生協平和のつどい」と改称して開催
●2017年からは「ヒバクシャ国際署名」の推進
●2021年3月から、日本政府に核兵器禁止条約の批准を要請するため「核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」の推進 など
昨年度のピースアクションinヒロシマ・ナガサキは、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにオンラインで開催され、改めて世界の現状を学びました。



ピースアクションinヒロシマ・ナガサキなどに参加すると、碑めぐりや被爆者との交流を通じて、一瞬にして「地獄図」と化したようすを知り、核の恐ろしさと被爆の実相、そして「平和」の大切さを実感することができます!

インターネットの「NHK戦争証言アーカイブス」も参考になるヨ!

- 世界の核保有国
→アメリカ、中国、イギリス、フランス、ロシア、インド、パキスタン、イスラエル、北朝鮮。
- 世界の核保有数
→ 13,400 (2020年1月時点)、90%がアメリカ、ロシアで保有。
- 国際的な平和への取り組み
→①ICAN(核兵器廃絶国際キャンペーン): 核兵器禁止・廃絶を目的に活動する世界のNGO(非政府組織)の連合体。2017年ノーベル平和賞受賞。
②NPT(核兵器不拡散条約): 1970年発効、191カ国が加盟。条約の三本柱は「核不拡散・核軍縮・原子力の平和利用」。
③核兵器禁止条約: 2017年に国連総会で採択、2021年1月22日に批准国が発効要件の50カ国に達する(日本政府は批准していない)。

出典: SIPRI YEARBOOK 2020、外務省ホームページなど

「家の中にある」戦争の傷跡

「お父さんは人を殺したの?」

2000年に77歳で亡くなった夫の父は、25歳ごろに召集され、ニューギニアに行きました。夫が小学生のころ、父親に「お父さんは人を殺したの?」と聞いたそうです。すぐに血相を変えた母親が飛んできたので、聞いてはいけない話だと夫は悟りました。

この話を聞いた私は、「戦争は被害者になるだけでなく、加害者にもなる」ことに気づき、体が震えるほどの恐怖を感じたことを覚えています。

お酒を飲んだ義父がぼつりぼつりと話してくれたこと

「飯ごうはどうかしましたか?」と私は義父に聞いたことがあります(復員兵には炊いた米が入った飯ごうが配られた)。

復員した義父は、自宅を探しながら帰る途中、ある子連れ女性が「飯ごうのご飯をこの子に一口でも食べさせてください」とすがって来たそうです。義父が肩から下げていた飯ごうを渡すと、女性は泣いて喜びました。「だから飯ごうはその人に渡したままだよ」と義父は言いました。

「出なかつた軍人恩給」

ニューギニア戦線は、ジャングルで飢えと病気(主にマラリヤ)で死亡する人のほうが多く、仲間たちが次々に死んでいく中、義父は生き延びて復員してきました。地獄のような戦地から、やっとの思いで復員してきた人は他にも大勢います。

今、戦争を知らない世代が増えました。それでも今もなお、家の中に「戦争」が感じられる「ト・モノ」が残るお宅もあります。『MOGMOG』編集委員のS・Kさんの家にもありました。

「戦後贈られた銀杯と懐中時計」

1993年、終戦後48年たつてから平和祈念事業特別基金より、義父に銀杯と懐中時計が贈られました。

最初は何れしように贈られた銀杯と懐中時計を見せられました。だんだんと「50年近くたつてから慰労されてもな…国は復員兵が死んで人数が減るのを待ってんだ」と語るようになり、聞いていた私も涙が出てきました。



S・Kさんのお義父さんは亡くなりましたが、とても立派に見える銀杯と懐中時計は残っています。でも、これらのモノが持つ背景を私たちは決して忘れてはいけません。「戦争が残る」お宅がありましたら、ご家族で考える機会を持たれてはいかがでしょうか。

《参考》

平和祈念事業特別基金は、「平和祈念事業特別基金等に関する法律昭和63年法律第66号」に基づき、内閣総理大臣の認可を受けて1988年7月1日に設立。2003年10月1日に新たに独立行政法人として発足し、慰労品の贈呈事業及び啓発広報活動等の慰労事業を2010年9月末まで実施(総務省ホームページより)。

まとめ

「戦争の恐ろしさと平和を次世代に伝える使命がある」

東都生協は1973年の設立以来、平和活動を大切に、組合員からの募金を活用した「東都生協平和のつどい」、各地域の平和募金企画などを毎年開催しています。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響でNPT(核兵器不拡散条約)再検討会議の延期など、多くの活動ができないうち、「アジアの子どもたちに絵本を贈ろう」企画やピースベルの呼び掛け、ピースアクションinヒロシマ・ナガサキのオンライン参加など、3密を避けた企画を実施しました。「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にも取り組んでいます。



一方、被爆された方々は高齢になりながらも、経験を話し、戦争反対の運動を続けています。戦争は75年前の遠い過去ではありません。戦争体験や遺品を次世代に伝え、パトンを未来へつなげるかどうかは、私たちの行動次第です。

「他者を認めない・尊重しないことは平和ではない」

女性蔑視発言をはじめ、たとえ無意識でも偏った価値観から誰かを傷つける場合があります。そして残念なことに、いじめや虐待はなくなり、傍観も被害を大きくします。

平和は小さな勇気や気づきから始まります。身近なところから「平和」を実行してみませんか。まずは、知らず知らず他者を排除していないか、自分の心に問い掛けてはいかがでしょうか。





A～Eの順に並べてできる言葉は？
ヒント：今が最盛期。ゼリー状のめめりが特徴

	4	5		8
1				A
		C		
2			7	
	D			
		6		B
3				E

タテのカギ

- 1 礼儀作法に外れていること。ぶしつけ
- 4 注目を集める人・コト・モノ。彼はクラスの○○○者。この夏○○○の色
- 5 立てば芍薬座れば牡丹歩く姿は○○の花
- 6 ○○運動は体操競技の一つ、便利な○○下収納
- 7 衣服を着替えること。ころもがえ。[○○○室]
- 8 「趣味と○○○○を兼ねる仕事ができたら…」

ヨコのカギ

- 1 油と水を混ぜると○○○する。高速道路の中央○○○帯
- 2 時間的に前。「あと○○考えない行動」
- 3 人々が集まって、互いに詠んだ和歌を発表し、批評する会
- 4 生後1年ぐらいまでの子。ちのみこ
- 6 ○○○農業、○○○野菜
- 7 人や動物の発声器官から出る音。○○変わり

正解者から抽選で、10人の方に
図書カードをプレゼント！

発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

MOGMOG ホームページからも
応募できます！
www.tohto-coop.or.jp/mogmog/

クイズのこたえ、おたより、写真、イラストなどが
きましたは、ホームページから送ってね。上記アドレスある
いは、右の二次元コードからアクセスしてください。



ハガキで応募する場合は、
下記の内容を書いて送ってね。

- クイズの答え
- 住所/氏名(お子さんの場合、年齢・学年)/組合員コード/ペンネーム(希望の方)
- 桃は好きですか？ 桃の思い出や、おススメの食べ方はありますか？
- 「食の未来づくり運動」のために「私にできること」「私の宣言」はありますか？
- 特集やその他の記事へのコメントや感想、イラストなど、なんでもどうぞ！

※おたよりや個人情報は、『MOGMOG』（インターネット含む）でご紹介する場合がありますが、編集目的以外での使用はいたしません。（おたよりは、リライトして掲載する場合があります）
※おたよりへの個別回答は行っておりません。

5月号の答えは、「シガイセン」だよ
締め切りは6月23日(水)の消印まで有効。

あて先 〒156-0055 世田谷区船橋5-28-6
吉崎ビル4階 「MOGMOG」係

Web カタログからも
カンタン注文



カタログ形式だから見やすい！
注文はパソコン・スマホどちらでも！
欲しい商品をそのままクリック！

Q: インターネット注文サイトで、Web
カタログから注文ができるようになっています。
A: 2020年9月よりWebカタログから
注文ができるようになりました。商品

2営業日以内にコールセンターから折り返し
し電話をかけます。ご利用ください。
A: 2021年2月10日よりコールバック
システム(あふれ呼)をスタートしてい
ます。コールセンターに電話し、音声ガ
イダンスに従って希望の折り返し電話番
号、午前または午後の選択を入力すると、

コールバックシステム「あふれ呼」とは？
※プッシュ回線以外は自動音声に対応できません
★音声ガイダンスに従って…
・ご希望の折り返し電話番号
・午前 or 午後の選択を入力ください。

Q: コールセンターへの電話がなかなかつ
ながらないので、折り返し電話の予約がで
きません。どうしたらいいですか？



組合員から寄せられた
声にお答えします！



一般的にマヨネーズの原料には卵黄のみを使用しますが、「東都マヨネーズ」は卵白を廃棄する可能性が高い卵黄型マヨネーズではなく、卵白を無駄にせず全卵を使用してさっぱりマイルドな味いに仕上げられています。また、卵は最善の衛生管理を考慮し、製造工場内ではなく、専門メーカーで割卵、殺菌・加工(液卵)しています。食用植物油(なたね油)は非遺伝子組換え(Non-GMO)のオーストラリア産のなたね(キャノーラ種)を、化学調味料の代わりに非遺伝子組換えのじゃがいも・ビート由来の原料をうま味成分として使用しています。

Q: 「東都マヨネーズ」に使用している卵は、
指定産地とありますが具体的にどの産地ですか。特徴についても教えてください。
A: 卵は、東都生協指定産地・匠盛GPセンターの鶏卵です。飼育環境や衛生状態は定期検査により安全に管理され、割卵し、加工専用メーカーに納品されます。殺菌・加工された卵は鮮度と品質を保つため冷蔵で運ばれ、マヨネーズ製造工場での

Q: 加工品の原材料を表示していませんが、
A: 2020年8月より、インターネット注文サイトでは「原材料」表示を行うようになりまし。インターネット環境があれば、ネット注文登録をしていなくてもご覧いただけます。また、インターネットがご利用できない方は、コールセンターにお問い合わせください。
※一部の商品で原材料が確認できない場合があります。その際はコールセンターにお問い合わせください。



- 「子ども食堂」や「フードバンク」で(東都生協が)頑張っているようすが分かって、とても良かったです。 練馬区 ペンネーム: あんこ
- わらびもちが一番好きです。家では、夏に白玉粉を使い、あんこやきな粉で食べています。 府中市 ペンネーム: タネ
- 和菓子で一番好きなのは芋ようかん。自分で作ったこともありますが、有名なF店のように滑らかなのが課題です。 川口市 ペンネーム: こうちゃん
- 母が豆大福が好きだったので、表紙の大福を見て興味を持ちました。昔は冷凍和菓子などなく、今の便利さに驚きます。 多摩市 ペンネーム: くまこ
- みたらし団子が一番好き。最近はスイーツを作っていませんが、MOGMOGレシビを見て、さっそく作ってみようと思います。 世田谷区 ペンネーム: yuko
- さくらもちが好き。作るのはどら焼きです。卵、牛乳、小麦粉を混ぜクレープ状に焼き、冷めたら小豆を入れて食べます。 江戸川区 ペンネーム: ジェリー
- 毎月MOGMOG楽しみにしています。表紙の写真もきれいで素敵だし、内容も読みごたえあります。 国分寺市 須崎とみ子
- MOGMOGレポートの皆さんの活動を読んで、新発見!ハーバリウム~好きです。参加したくなります。トマトの話も聞きたい...全部参加したい。次は参加しようと思います 荒川区 ペンネーム: 元気であらら
- NO2測定濃度の記事を見て、新宿・渋谷と東久留米・稲城の結果がイメージと逆でした。なぜなのか興味深いです。 小金井市 星野千春
- 仕事柄、子どもたちの「格差」の広がり強く感じます。家庭の経済状況で子どもたちの可能性やチャンスをつぶさない社会を、おとなが実現しなくては、明るい未来はないですね。 中野区 ペンネーム: きんぴか
- 皆が平等に、三食食べることができるよう願っています。 川崎市 草谷信子
- 各戸ごとの商品の仕分けはどのようにされているのでしょうか。誤配などがなく、スタッフの方、素晴らしいと思います。 目黒区 榎本真知子 (2020年10月号、2017年3月4月号をご覧ください!)
- 高齢になり、糖質は我慢の日々ですが、孫が来たら安全でおいしい芽吹き屋さんのお菓子を食べさせたいです! 冷凍和菓子を初めて開発されたんですね。 西東京市 小林章子
- 子ども食堂など、地域で活動があればお手伝いをしてみたい。 立川市 水森かな江





食の未来づくり運動

私の宣言

農業生産者が一生懸命働いて食べ物を作っていること、そして食べ物を粗末にしないことを子どもたちに知らせる。
江戸川区 天野 邦子

- 1 食料自給率の向上
 - 2 日本の農業を元気に
 - 3 持続可能な社会に向けて
- 1人が5人に地域で「食の未来づくり運動」を伝え、その輪を広げよう

東日本大震災から10年 「3.11を忘れない」オンライン・シンポジウム

主催：東都生協

2011年3月11日の東日本大震災で、甚大な被害を受けた被災地の復興状況の確認、今もその爪痕を残す東日本大震災の教訓を継承することを目的に、オンライン・シンポジウムが開催されました。

継続した交流が「心の復興」につながる

3月6日、42人(組合員、関係団体、東都生協関係者含む)の参加を得て開催(午後2時~3時40分)。「黙とう」をささげた後、風間与司治理事長からの「今日の交流を通じて、改めて震災の記憶・記録を風化させることなく、その教訓を学び継承していきましょう」の挨拶でスタート。



被災関係団体に応援メッセージとともに贈呈されたクリスタル盾

みやぎ生協・コープふくしま ふくしま県本部副部長の宍戸義広さんから10年間の歩みについて、そしてコープふくしまの組合員理事と日本生協連の担当者からは「実際の食事に含まれる放射性物質量の測定」結果が報告された後、10年間の東都生協組合員や産地・メーカーによる支援に対する感謝が述べられ、「被災

者の心の復興こそが大切」と締めくくられました。

続いて、被災地取引先の(株)マルダイ長沼商店と宮城県漁業協同組合表浜支所、被災地支援に参加した(株)コープミート千葉など、メーカー3社と東都生協組合員によるパネルディスカッション。疲弊した被災者への炊き出し、10年間の支援の取り組みや地元企業の商品支援が復興へとつながったこと、今後も組合員、産地・メーカーが継続して交流していく決意などが話されました。また、300件ほど寄せられた組合員からのメッセージが被災した関係団体に贈呈され、「決して忘れない、風化させてはいけない」とあらためて強く感じたシンポジウムでした。

*東都生協公式YouTubeチャンネルで「東日本大震災から10年」の動画を公開しています。右の二次元コードからご覧いただけます。



東都生協組合員からの応援メッセージ冊子

(株)マルダイ長沼商店(宮城県石巻市) 代表取締役・長沼康裕さん



大津波で「めかぶと生かき」は全滅。毎日生きることで精一杯の中、2週間過ぎたころから重機で工場のがれきを片付け始め、8~11月に生かきとめかぶ工場を再開。

当初は、原材料不足や放射能の風評被害で震災前の2割程度の売り上げだった時期もありましたが、2017年、めかぶと生かきの新工場が完成。HACCP(=ハサップ認証規格：食品製造時の安全確保の管理手法)を取得し、現在、売り上げも震災前と同程度に戻り、「やっとここまで」と思っています。東都生協の皆さまからの温かいご支援・ご声援のおかげです。本当に感謝しています。これからも三陸・宮城・牡鹿半島のおいしい海産物をお届けしていきます。

わたしのこだわり 「東都冷凍とろろめかぶ(たれ付き)」

宮城県表浜のめかぶを水揚げした日に急速冷凍(鮮度保持)。間接加熱した後、うま味・風味を逃さずパック。

商品カルテからのおすすめメニュー3品

- ・めかぶと長いものしゃっきりサラダ
 - ・めかぶと豚しゃぶのねばねば丼
 - ・ほたてといくらのめかぶ和え
- (※東都生協ホームページ「簡単・おいしいレシピ紹介」に掲載!)



生食用かき

水揚げ直後からの厳しい品質管理・衛生管理で鮮度保持。生かきの成育に近い状態でパックし、高鮮度のままお届け。



参加者の感想(一部)

- 「関心を持たれないのがつらい。つながって関心を持つこと。寄り添うこと」という言葉が印象的。
- 原発事故による問題、地震や津波で失われた日常生活や生業。その後、たくましく復興してきたようすと東都生協の支援を知ることができた。
- 高い防潮堤ができて、「海が見えなくなったが、安全な町になった」という言葉が忘れられない。

●三陸牡鹿表浜「魚つきの森」植樹協議会とは?

2009年、(株)マルダイ長沼商店、宮城県漁協表浜支所、東都生協の三者で「三陸牡鹿表浜魚つきの森植樹協議会」を設立。次世代に豊かな環境や資源を残す海づくりや組合員との交流を目的に活動。

***めかぶや生かきを食べて、復興支援を続けよう! 東北応援商品を購入して東北を支援しよう!**

今月のつみやき

今月の産地ページでは「桃」を紹介しています。桃を眺めると、そのピュアな淡紅色に癒されます。桃の実を口に入れるとジュシーな甘さが広がり、とっても幸せな気分になります。そして、思います。「早くみんなで、桃の産地訪問に行きたいなあ」。コロナ禍の収束が待たれますが、楽しみは後で…。(HK)

お問い合わせ 組織運営部
☎ 03(5374)4756

月曜~金曜：午前9時~午後4時
E-mail: kumikatsu@tohto.coop

〒156-0055 東京都世田谷区船橋5-28-6 吉崎ビル4階

産地直結ひとすじ。いちばん頼れる生協に。

今月の表紙：水芭蕉の花。水辺に生え、葉の形が芭蕉(バショウ)に似ている。

